



～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2025.7.4

夏

のはじまり。今年の夏も暑くなりそうですね。今回は現在、開花中の遊水地に生息する食虫植物について少しご紹介したいと思います。食虫植物は葉緑体を持ち光合成をしていますが、更に様々な仕組みで虫を捕食・消化吸収する植物です。可愛らしい花を持つ反面、特殊な生態で生き抜く食虫植物たちをぜひチェックしてみてください。

食虫植物の世界

シロバナナガバノ

イシモチソウ

モウセンゴケ科

腺毛の先端の粘液に触れた虫を捕え、消化吸収、その一部を栄養としている。イシモチとは、この粘着質の腺毛で、小石をくっつけて持ち上げるからだそう。粘り着け式と呼ばれるタイプ。



粘り着け式

捕らえられているハエを発見！



ミニカキグサ

タヌキモ科

地中に茎を伸ばし、茎のところどころに、ごく小さな半透明の袋（捕虫のう）をつけます。捕虫のうは約1mmと小さく、いつもは閉じているが、刺が生えていてそれに微生物が触れると水ごと吸い込こむことで捕食します。吸い込み式と呼ばれるタイプ。地中に捕虫のうがあるので観察できないのが残念😞



吸い込み式

7月に見られる植物・昆虫



ホソバオグルマ
[絶滅危惧Ⅱ類]



ハンゲショウ
[栃木県レッドリスト種]

ネジバナ



ミズチドリ
[栃木県レッドリスト種]



アゼオトギリ
[絶滅危惧ⅠB類]



チョウトンボ
[栃木県レッドリスト種]



ショウジョウトンボ



コシアキトンボ

多自然池では
様々な種類の
トンボが見られます！